

いちにのさんしん



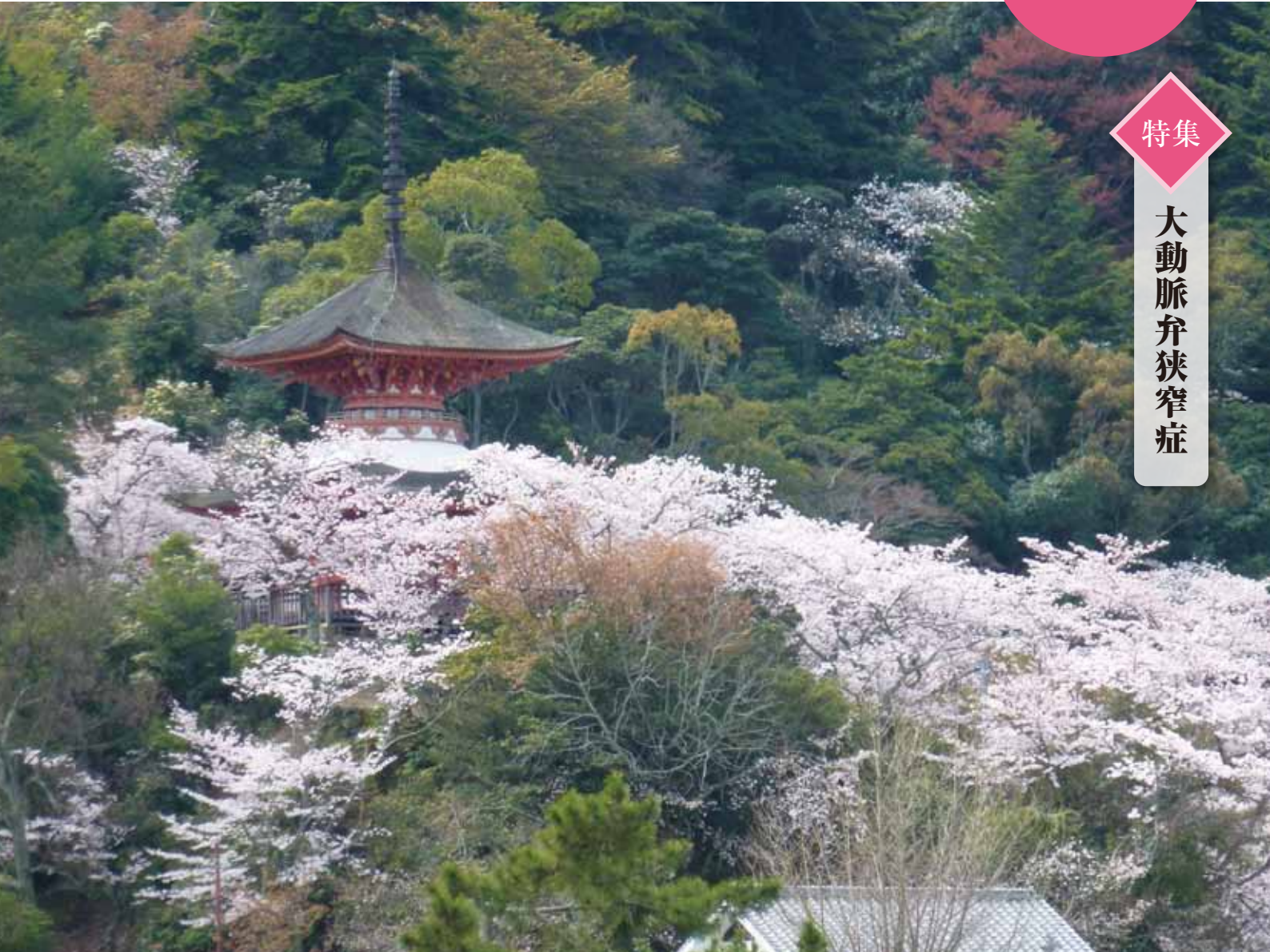
日本医療機能評価機構
認定病院

原三信病院 広報誌

2017.4.1
No.59

特集

大動脈弁狭窄症



作品名：「春煌（撮影地：広島県宮島大願寺多宝塔）」 写真部 杉 俊廣

病院理念

病人のための病院

病院基本方針

- 一、質の高い医療の追求
- 一、居心地の良い環境の提供
- 一、心のこもったサービスの実践

CONTENTS

- さんしんニュース…………… 1
- THEがんばる人「がん相談支援センター がん専門相談員」…… 2
- 特集「大動脈弁狭窄症」…………… 3
- 栄養科だより・簡単★健康ストレッチ…………… 4
- 新・原三信「新棟 新着 情報 Vol.13」…………… 5
- 暮らし歳時記・香椎原病院だより…………… 6

平成29年5月 健康管理センターリニューアルオープン予定

健康管理センターは、平成29年5月に別館3階より本館2階へ移動し、リニューアルオープンいたします。胃内視鏡検査・胃透視検査や子宮がん検査等が本館2階に集約され、その他の導線もより短くなります。診察室を始め超音波室・生理検査室・X線撮影室等の検査室や受付、待合室や更衣室・トイレ等も広く、明るく、より機能的となっています。新しくなった当センターをぜひご利用くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



受付待合室のイメージ

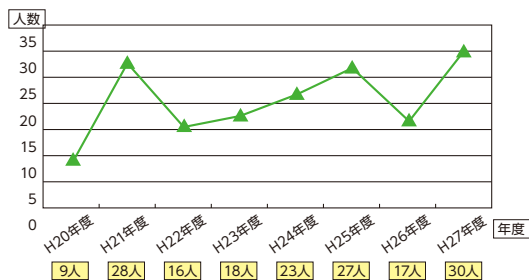


原三信病院 本館2階 平面図

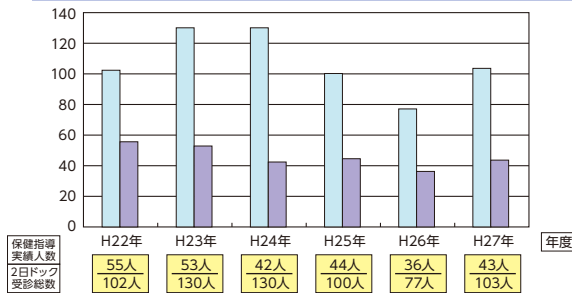
保健指導について

平成20年度から始まった特定保健指導は今年で9年目となりました。年々、契約企業や希望者が増え、多くの方に保健指導を実施させて頂いております。平成27年度は30人の実施で、初めて保健指導を受ける方もいれば何年目かの方など様々な人がいました。中には積極的支援から改善し、動機づけ支援対象となった方もいます。数値の減少だけでなく、「保健指導を受けてよかった」「無理なく健康的な生活が送れるようになった」などと満足して頂けるように、これからも頑張りたいと思います。

特定保健指導 実績

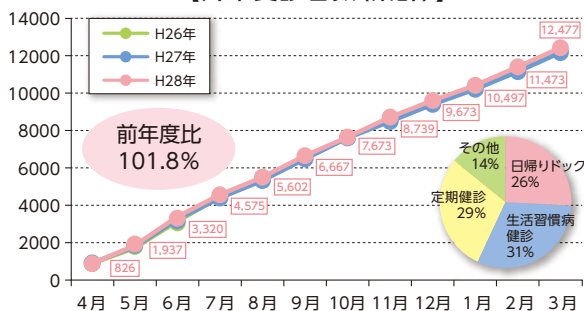


2日(宿泊)ドック保健指導 実績

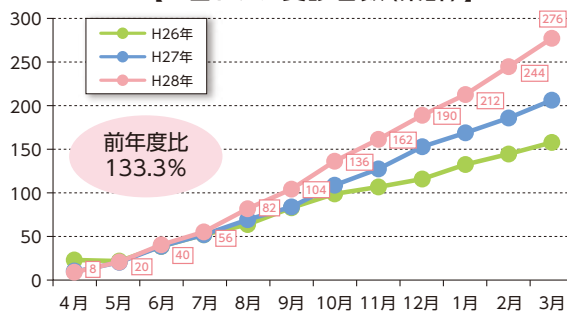


受診者推移について

【外来受診者数(累計)】



【2日ドック受診者数(累計)】



平成28年度も前年度同様、多くの方々に当センターをご利用頂きました。健康増進、病気の早期発見・早期治療など、ご自身やご家族の大切な体をまもるためにも、1年に1度は受診をおすすめします。当センターにもさまざまなコースを取り揃えておりますので、ぜひご利用ください。

Q がん相談支援センターは何故できたのですか？

A 今やがんは2人に1人がかかる病気となりましたが、診断と治療の進歩によって、約6割の方が完治できると考えられ、「がんとともに生きる」人が増えています。そこで国の対策として、患者さんとその家族の精神的、心理的、社会的苦痛を和らげるため、全国のがん診療連携拠点病院にがん相談支援センターの設置が義務付けられました。当院は、拠点病院ではありませんが、入院患者さんの3割はがんの患者さんであることから、その支援の目的で設置されました。

Q どのような相談があり、その対応はどのようにしていますか？

A 告知を受けた衝撃からまだ立ち直れない中、治療法を選ぶように言われ混乱されている方や、他の治療法が知りたい、等の相談者がおいでになります。そのような方にはご自身の病気や治療、療養生活についての情報提供を行い、他の専門医の意見を聞きたいなどのご要望には、セカンドオピニオン外来についても対応しております。相談者と一緒に問題を整理し、ご自身が納得した上で治療ができるよう関わっています。

THE

がんばる人

がん相談支援センター がん専門相談員

Q 相談者に伝えたいことはありますか？

A 相談者の病状を最も理解しているのは担当医や、医療者です。日頃から、自身の状態や痛みなどの自覚症状、困っていることや不安、わからないことなどについて率直に伝えていくことは大切です。ご自身の気持ちを伝えることでよい関係が築かれていくと思います。上手く聞くことができないなど、お困りのときには、どのように質問したらよいかも一緒に考えますのでおひとりで悩まないで下さい。

Q PRメッセージをお願いします！

A まだ、がん相談支援センターの知名度は低いのですが、他院で治療されている方からの電話相談も多く、国の研修を修了した相談員が、メディカルソーシャルワーカーや認定看護師、薬剤師、栄養士などと連携を図り、より患者さんの役に立てるよう活動していきます。また、相談者の中にはセンターを利用していることを知られたくない方も多いので、守秘義務を遵守し細心の注意を払って参ります。がんに関することならなんでもお聴きしますので、お気軽にお尋ね下さい。

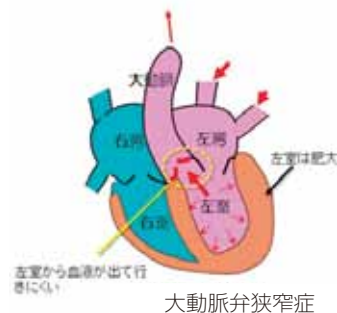


がん相談支援センター直通番号 092-291-3452

大動脈弁狭窄症

(AS:Aortic valve Stenosis)

大動脈弁狭窄症とは、心臓の出口にある大動脈弁が狭くなり、心臓から十分な血液を送り出すことができなくなった病気で、近年高齢化に伴って増加しています。症状は心臓の圧が高まるために息切れや呼吸困難を生じます。心臓から出ていく血液が少なくなるために、脳の血流も低下し、めまいや失神を起こすこともあります。また、高度な左室肥大や同時に起こる冠動脈狭窄で、階段を上ったときや走ったときに胸の痛みを生じることもあります。重症例では突然死の危険もある非常に恐ろしい病気です。



大動脈弁狭窄症は左室から出ていく血液の速度を計測することで心臓超音波検査で簡単に診断することができます。正常の大動脈弁口面積は3.0cm²(左室流出路流速1m/sec以下)ですが、本症例では0.42cm²(左室流出路流速5.5m/sec)と著明な狭窄を示し、大動脈弁置換術の適応です。



大動脈弁狭窄症のエコー像(拡大)

一度狭くなった大動脈弁は残念ながら薬で治すことはできません。



機械弁



生体弁

そこで開胸手術による大動脈弁置換術(AVR:Aortic valve replacement)という手術を行い狭くなった弁を人工弁に取り替えます。人工弁にはチタンやタングステンにバイロライトカーボンを塗布した機械弁とウシの心膜やブタの大動脈弁を利用した生体弁があります。

一度狭くなった大動脈弁は残念ながら薬で治すことはできません。そこで開胸手術による大動脈弁置換術(AVR:Aortic valve replacement)という手術を行い狭くなった弁を人工弁に取り替えます。人工弁にはチタンやタングステンにバイロライトカーボンを塗布した機械弁とウシの心膜やブタの大動脈弁を利用した生体弁があります。

機械弁の良いところは大変長持ちするという点です。欠点はワーファリンという抗凝固薬を一生内服する必要があることです。生体弁は金属ではありませんので、ワーファリンは必要ありません。しかし欠点は10年から15年経つと、弁が硬くなり狭窄したり壊れたりすることがあります。



本症例の大動脈弁血流速度



経カテーテル大動脈弁留置術

開胸手術である大動脈弁置換術は超高齢(80-90歳以上)の患者さんなどでは手術自体のリスクが高くなります。そこで経カテーテル大動脈弁留置術(TAVI:Transcatheter aortic valve implantation)という人工弁を取り付けたバルーンを大動脈弁で拡張し、人工弁を留置する治療法が開発されました。これによって超高齢の患者さんも体に負担が少なく治療を受けることができるようになりました。

これまで、大動脈弁狭窄症のことをいろいろとお話しましたが、一番大切なことは先に述べたように息切れやめまい、胸の痛みなどを自覚したり、聴診のときに雑音がありますねと言われたら循環器科を受診して心臓超音波検査などの精密検査を受けることをお勧めします。

臨床検査科
主任 佐藤 早見



栄 養 科 だ よ り

栄養科
東 さやか



『鯛』古くから縁起のよい魚とされ正月料理や結婚式、国技である相撲の優勝祝いにも使われ、日本人の祝いの席の必需品といえます。春に産卵を控えた鯛は、「桜鯛」「花見鯛」と呼ばれ、一年を通じて最も美味しくなります。鯛はタンパク質が多く、脂質が少ないので消化吸収がよいのも特徴です。

季節のレシピ 鯛の春いろごはん



栄養成分(1人分)
エネルギー: 510kcal
蛋白質: 18g
脂質: 4.0g
塩分: 1.2g

見分け方

- ・ 色鮮やかなもの
- ・ 身が厚く、尾に幅があって太っているもの
- ・ 目の上が青っぽい紫色に輝いているもの

- 作り方**
1. 昆布の表面を布巾でふき、水に30分漬ける。
 2. 米を洗い、ざるに入れ水気をきる。
 3. 鯛に塩をふり、フライパンで表面を焼く。
 4. 生姜は千切りに切り、飾り用を別にしておく。
 5. 炊飯釜に米、分量の水、昆布、生姜、鯛、調味料・水溶き食紅を入れて炊き込む。
 6. 炊き上がったら、昆布を取り出し、混ぜる。
 7. みつばと生姜を飾る。

材 料 (4人分)

米	3合	昆布	10cm
水	540cc	料理酒	大さじ1
鯛切り身	2切れ (刺身の場合は5枚)	薄口しょうゆ	大さじ1
塩(鯛の振り塩用)	少々	塩	小さじ1/2
生姜	1片	飾り用: みつば・生姜	
		色つけ: 食紅	

簡単 ★ 健康ストレッチ



脚のストレッチについて

私たちは日頃より 2 本の脚で終始歩いて移動していますが、地面の状況やいろいろな環境場面の变化で脚を使い過ぎて疲労してしまうことが多いかと思います。今回は脚(大腿部・下腿部) のストレッチをテーマにご紹介したいと思います。

リハビリテーション科
科長 烏山 邦敏



2. 大腿部後面のストレッチ



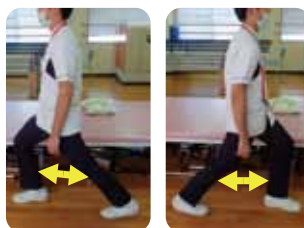
図のように両膝に手をついて片方の脚を伸ばしながら手で少し押さえて20秒ほど制止します。左右交互に2~3回繰り返します。

1. 大腿部前面のストレッチ



片手で手すりか壁に手を付き、もう片方の手で図のように足首を持ち20秒ほど制止します。左右交互に行います。

3. アキレス腱のストレッチ



脚を前後に開き、後ろの脚に張りを感じるまで前足をまげて反動をつけずに20~30秒制止します。左右交互に2~3回繰り返します。



新・原三信

新棟

新着

情報

Vol.13

婦人科について

平成28年3月に原三信病院新棟が竣工され弱小・婦人科も乳腺外科のお隣にお引越しいたしました。それまでが昭和の香りがする、アンティークでレトロな雰囲気の中診療をしておりましたので、常連の患者さんの中には「ちょっと落ち着かない」とおっしゃる方もちらほらいらっしゃいましたが概ね皆様、歓迎ムードでした。また、外来に伴い、病棟も外科と混合病棟となり、新棟6階に居を構えております。



婦人科病棟(個室)

婦人科の診察は必ず内診台を使用するため、外来の律速段階は内診待ち、ということに相成ります。ここを絶対曲げられない条件として「一つの診察室に内診台を一つずつ」を死守。それに伴い、購買部の担当の方に複雑な顔をされながら商売道具である超音波検査の機械を設置していただき、非常にグレードの高い診療が可能となりました。エコーの機械の性能の良し悪しは、診断の確かさに繋がりますので、一安心です。昨今、医師の腕以上にエコーが大事です。

旧婦人科外来で、「ご高齢の患者さんが内診台のそばで転倒しかける」というとても肝の冷える事件があったため、新しい外来ブースでは内診台周囲の段差をなくし、移動距離ができるだけ短いように設計しています。難点として内診台を診療室に設置してしまったため、スペースがかなり限られ、文字通り「医者と膝を突き合わす」状態です。現時点で「医者との距離が近すぎる」というクレームは皆無であるため、ちょっとお顔が近いくらいはご愛嬌なのかと胸をなで下ろしています。



婦人科病棟(多床室)

病棟は以前よりぐっと広く、パーティションがしっかりしているため入院患者さんが「これなら個室じゃなくていいわ〜」とおっしゃるくらい大部屋も充実しています。ただ、今まで婦人病棟が独立していたのですが、外科と混合病棟になったため、お部屋ごとに男性、女性が分かれるものの、同じ病棟に男女が入り混じるという、他の産婦人科では全く見ない状況です。移設する前はこの混合病棟に戦慄を覚えていたのですが、廊下ですれ違うくらいは許してやろうという皆様の寛容さでなんとか回っております。スタッフの努力は涙ぐましく、婦人科への入院の方はナースステーションに近い、一番奥の二部屋に集まるよう苦心惨憺していただいています。ありがたいことです。

おかげさまで私が平成26年に着任してから731例(平成26年6月～平成28年12月まで)の手術をこなし、うち内視鏡手術(腹腔鏡手術、子宮鏡手術)は500例を越えてきました。できる限り小さく美しい創で、

できる限り痛くないように考えて手術を行い、心細く思われないよう誠心誠意努力してまいります。リニューアルした外来、病棟共々どうぞ末永くご愛顧いただけますようお願い申し上げます。



婦人科外来診察室

婦人科
部長 片岡 恵子

暮らし歳時記

昔から大切にされてきた四季折々の行事や旬のものには、暮らしを豊かにするヒントがいっぱい。上手に取り入れて、もっと季節を楽しんでみませんか？

4月〈卯月〉花祭り

旧暦の4月8日はお釈迦さまの誕生日とされ、日本では新暦の8日に「かんぶつえ灌仏会」が行われます。誕生地のインド・ルンビニーの花園に見立て、花をたくさん使うことから「花祭り」とも呼ばれます。

花祭りでは釈迦像の頭から甘茶を注ぎます。これは龍がお釈迦様の誕生を祝い甘露の雨を降らせた伝説に由来します。甘茶はヤマアジサイの仲間、アマチャの葉を乾燥・発酵させたもので、ほんのりとやさしい甘さです。お寺などで振る舞われる花祭りの甘茶を飲むと、病気をしないとされます。

5月〈皐月〉八十八夜

「夏も近づく八十八夜…」、5月は新茶の季節ですね。立春から数えて88日目を「八十八夜」と言い、この日に摘まれた新茶を飲むと長生きするとされます。毎年5月2日ごろがこの日に当たります。

新茶はその年の最初に伸びた新芽を摘み取ったもので、さわやかな味と香りが人気です。新茶の後に摘まれる二番茶、三番茶などに比べてカテキンやカフェインが少なく、うまみや甘味成分のアミノ酸が多く含まれています。新茶は風味だけでなく、成分的にも優れているということです。

6月〈水無月〉紫陽花

あじさい紫陽花は雨が似合う花。明るい太陽の下より、しっとり雨に濡れる姿の方がより美しく光ります。

日本原産の紫陽花は、長崎に由来するシーボルトによって世界に紹介されました。花の色は土壌の成分で変わり、酸性は青、アルカリ性は赤、中間は紫になります。ヨーロッパでは赤系が主流ですが、日本の土壌は弱酸性のため青や紫が大半を占めます。青紫は日本特有の美しさです。梅雨の季節はおでかけがおっくうになりがちですが、この時期ならではの花めぐりを楽しんでみてはいかがでしょうか？



香椎原病院だより

心大血管疾患リハビリテーション(心リハ)のご紹介

心大血管疾患リハビリテーション(心リハ)とは

心疾患、大動脈疾患の患者さんが、社会復帰・再発予防を目的として行う医療プログラムのことです。患者さん一人ひとりの状況に応じて、運動を含めた生活習慣の見直しと改善を図り、快適で質の良い生活を送っていただくことを目指すもので、疾病後の欠かせない治療の1つとして、世界中で広く行われています。



集団体操の様子

当院での心リハ

2013年10月から心リハを開設し、現在は入院及び外来患者さんにリハビリテーションを提供しています。医師、看護師、理学療法士、管理栄養士、薬剤師、健康運動指導士、医療ソーシャルワーカーなど多くの医療専門職から構成される心リハチームが、運動療法の他に、生活・食事・薬等の指導を行います。



香椎原病院
リハビリテーション科
心臓リハビリテーション指導士

川島 賢士

＋ 病院及び関連施設のご案内

原三信病院



〒812-0033 福岡市博多区大博町1-8
 ☎092-291-3434 FAX092-291-3424
 URL <https://www.harasanshin.or.jp>
 ☒ info@harasanshin.or.jp



日本医療機能評価機構
認定病院

● 診療時間

月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00
 土曜日 9:00～13:00

※日・祝祭日および8月15日・12月31日～1月3日はお休みです。但し、急患の患者さんは、救急外来にて診察いたします。また、12月30日は午前診療のみとなります。

● 診療科目

総合診療科 循環器科 消化管内科 肝胆膵内科
 血液内科 呼吸器科 腎臓内科 糖尿病内科
 脳神経内科 外科 胸部外科 整形外科
 脳神経外科 泌尿器科 婦人科 放射線科
 麻酔科 歯科・口腔外科 睡眠呼吸障害センター
 健康管理センター 病理診断科

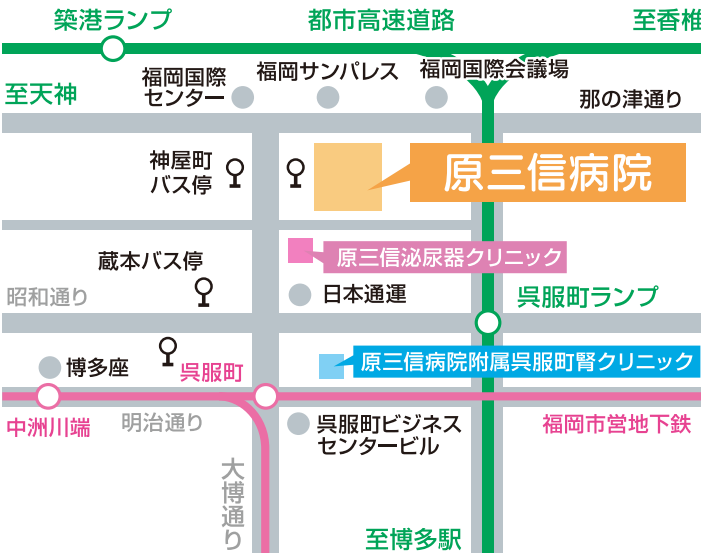


シャトルバスのご案内

原三信病院 ↔ 博多港 を
運行中。

患者さんはもちろん、ご家族の方やお見舞の方もご利用下さい。(無料)

※詳しくは病院内の時刻表をご覧ください。



香椎原病院



〒813-0011 福岡市東区香椎3-3-1
 ☎092-662-1333 FAX 092-662-1330
 URL <http://www.kashiwara.or.jp/>

● 診療時間 月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00
 ● 診療科目 内科・リハビリテーション科・循環器内科



シャトルバスのご案内

香椎原病院 ↔ 千早駅西口 ↔ 吉塚駅東口
 ↔ 原三信病院 間を運行中。(無料)

シャトルバス時刻表

	香椎原病院発	千早駅西口発	吉塚駅東口発	原三信病院着	原三信病院発	吉塚駅東口発	千早駅西口発	香椎原病院着
午前	9:30		→	10:00	10:10	10:20	10:40	10:50
	11:25	11:35	11:55	12:05	12:15	12:25	12:45	12:55
午後	13:40	13:50	14:10	14:20	14:30	14:40	15:00	15:10
	15:40	15:50	16:10	16:20	16:30		→	17:00

運休日: 日曜・祝日・年末年始

※時刻、路線は変更することがございます。詳しくは受付にてお尋ね下さい。

原三信病院附属 呉服町腎クリニック



〒812-0035 福岡市博多区中呉服町1-25
 ☎092-262-2828 FAX092-262-2853
 ☒ gofukumachi@harasanshin.or.jp

● 透析シフト
 月～土曜日 9:00～(昼透析)
 16:00～(夜透析)

※透析は週3回(月水金・火木土)の昼と夜の4シフトで行います。

● 診療内容 人工透析

原三信泌尿器クリニック



〒812-0034 福岡市博多区下呉服町2-13
 双和ビル2F
 ☎092-283-5121 FAX092-283-5131

● 診療時間
 月～金曜日 9:00～13:00
 14:00～17:00

● 診療科目 泌尿器科